

～ジュニア・リーダーの心得～

1. 行事の目標をしっかりおさえていること

参加した子供達は年齢の違う仲間と触れ合いながら、日常生活における望ましい習慣を自分のものにするところにある。リーダーはその活動や行事について進めていく上で、ただ楽しければいいということではなく、目標をきちんと理解することが大切である。

2. 情熱をもっていること

ジュニア・リーダーは頼まれることをやるだけでなく、進んで行動を起こす、いわゆるやる気のある若者であることが期待される。また、楽しい雰囲気を作りだし、リーダー自身、目に輝きのあ
る将来に夢を持つ若者であること、未知の世界に挑戦する勇気と冒険心をもっていることも必要である。

3. 活動の仕組みについて理解していること

ジュニア・リーダーは、助言をすることで十分にその役割を果たすことが出来ることもあれば、ゲームやレ
クの実技などで直接指導の必要が出て来る時もある。仕組みを理解し、出る幕、出ない幕を踏まえて、
班長の役割を取り上げてしまうことのないように気をつける。

4. 自身の立場を知り「JL」の役割を知っていること

様々な活動に参加し、位置づけられている立場と、研修会などで学んだリーダーの役割を十分に果たし
たいものである。よき相談相手となって多くの子供達から慕われる活躍をするようにしましょう。

5. 会員に対して理解を示すことが出来るリーダーに

公平な態度で接することができれば理想的だが、強い命令口調や禁止事項ばかり並び立てるリーダー
は、子供達を萎縮させてしまう。思いやりの心を持ち、出来るだけ相手の気持ちに近づいて、理解してや
ることが必要。

6. 子どもの会員、育成者とのコミュニケーションがはかれること

自分の意見を持った、良い意味で信頼のあるリーダーであること。

7. プログラム展開能力をもっていること

プログラムに沿って、実施を進める為には、リーダーが適切なアドバイスをすることが必要である。手順を決め、実用に応じて豊富な情報や資料などを集め、相談に応じられるように学習を深め、技術をしっかりと身に付けることが必要である。

8. 課題解決能力をもっていること

創造性、決断力、手順を決める能力が問われる。普段から、企画力、判断力を身に付け、習得しておくべき項目をしっかりと備えていること。一人ひとりの気持ちを観察し、適切な判断力と処置の出来ることが望まれる。

9. 指導力・集団づくりの能力をもっていること

グループ活動を高めていくための適切な指導、助言しかも全体をとらえて適切な判断がくだることもリーダーの大切な役割である。また、リーダーとしての役割が十分出来ていることが人を指導していく上で大切である。

10. 子どもが好きなこと

ジュニア・リーダーとして最も基本的な条件である。一人ひとりの子どもに積極的に関心を持ち、思いやり、愛情をもって関わるリーダーであること。自分が悪く思われたくないと、思い切って発言しないのは良くないことである。

～ジュニア・リーダーの役割～

1. 子ども会を知ろう

子ども会とは、地域を基盤とした異年齢集団である。また、活動を通して、心身ともに立派な社会人になるための子供達の自主的な集まりで、そこに指導者やジュニア・リーダーと育成者が援助して成立している。

2. ジュニア・リーダー

子ども会のリーダーは経験が浅くまだまだ未熟なので導いてくれる指導者が必要である。大人よりも子ども会の会員と年齢が近く、親近感が持て、興味や関心に応えやすい中学生や高校生のリーダーが子供達にとって身近な存在となる。

3. ジュニア・リーダーの役割

- ・子ども会会員同士の仲間作りの良き理解者で、その活動の中心となり活動すると共に活動を通じてジュニア・リーダー自らが成長することが出来る
- ・会議や班活動、班長会議の良き理解者として適切な発言をする。
- ・会員と一体となり行動し、お兄さん、お姉さん役になり、親近感をいっそう深める。

4. ジュニア・リーダーの心得

- ・子ども会活動をリードする立場であること
- ・いつも、お兄さん、お姉さんであり、子供の良き友達であること
- ・子どもが好きで、いつもみんなと一緒に行動できる身近な人であること
- ・子供達から学び取る努力をすること
- ・どの子に対しても公平に扱うこと
- ・子ども一人ひとりを観察して、よく知っている人のなること

5. みんなから信頼されるジュニア・リーダー

望ましいジュニア・リーダー	望ましくないジュニア・リーダー
☆子ども達や子ども会のことをよく分かっている	☆ボスの的で威張っている
☆活動をよく手伝う	☆威張って自己中心的
☆子ども達にとって親しみやすい	☆子ども達やグループと一緒にいない
☆ユーモアがある	☆いつも不機嫌である
☆いつも自然に振る舞う	☆色々な事に興味がない
☆みんな平等に扱う	☆不公平でえこひいき
☆何にでも協力的	☆非協力的

6. ジュニア・リーダーとして知っておきたいこと、身に付けたいこと

- ・子ども会組織の運営
- ・話し合い活動の意義と会議や討議の方法
- ・集会の開き方や運営方法
- ・レクリエーションの意義や指導方法
- ・グループ活動の正しいあり方の理解や経験
- ・野外活動、特にキャンプの意義と理解
- ・安全に関する理解と配慮
- ・評価や反省の仕方
- ・プログラムの立て方

- リーダーはドラえもん (DORAEMON)
- ・^{ドリーム}Dream (夢) があること
 - ・^{オブジェクト}Object (目的) を決めていること
 - ・^{レギュラー}Regular (定期的・日常的) であること
 - ・^{アクション}Action (行動力) があること
 - ・^{エスティメイト}Estimate (評価) ができること
 - ・^{メモリー}Memory (記録) を残すこと
 - ・^{オグナゼーション}Organization (組織) 力があること
 - ・^{ネーチャー}Nurture (養育力) があること

- ・未来に向かう子供達と夢を持ち、しっかりと目標を決め、行動力のある人が本当のリーダーである。
- ・リーダーは記録を残し、子供達の評価をきちんとできる人でなければいけません。また、リーダーはグループを育てることも重要である。
- ・リーダーは優しく接して、子供達にしっかり反応しなければなりません。